

コジャイケ旅行記

ーマーブル・カテドラル、サン・ラファエル氷河ー

日揮株式会社
高田 昌宏



中部パタゴニアのコジャイケ周辺を旅行してきましたので、それについてご紹介させていただきます。

コジャイケまでの道のりは、まずサンチャゴから空便で約2時間のバルマセラ空港まで行くところから始まりますが、フライトによってはプエルト・モンで1回Transitを挟むのでその場合は最低3時間はかかります。空港からは車で30分程度の場所

にあります。

コジャイケ自体とても長閑で美しい場所なのですが、今回1番の目当てはCapillas de Mármol（マーブル・カテドラル）という湖内の洞窟で、ここにたどり着くにはコジャイケからさらに車で4時間半ほど走りました。

この旅のきっかけは、仕事の都合で急遽まとまった休みが取れることになり、その急な日程に対応できそうなツアーの中でCapillas de Mármolの美しい写真が目にとまり、そこに行きたいと思い、決断しました。



今回はサンチャゴにあるパタゴニア方面専門のツアー会社が催行しているパッケージプランに参加しました。ツアー中、車を運転してくれた年配の男性が、時速40km未満で走り続けて4時間半でしたので、空港でレンタカーを借り、自分で運転すればもっと早く着けるとおもいます。ただ、舗装されていない道で見通しが良くない箇所もありますのでスピードの出しすぎは危険ですし、道中の景色がとてきれいなのでゆっくり行くのも悪くなかったです。



コジャイケから車で4時間半走ると、ヘネラル・カレーラ湖という南米で2番目の大きさの湖に着きます。この湖内にプエルト・トランキーロという小さな港があり、そこで小型船に乗ってCapillas de Mármolにアクセスします。小型船に乗って15分程進むと、漸くその姿が見えてきます。長い年月を経て侵食された石灰岩質の洞窟と湖水の透明度の高さにとても感動しました。光の加減によっ

て湖の青さが変わるらしく、天候が悪いと鮮やかな青色にはならないとのこと。

小型船に乗って洞窟を鑑賞している時間は約15分程でした。宿泊した宿は、食堂を営む民家の1室を間借りしたもので、シャワー、トイレ付きの部屋でしたが、お湯の出がイマイチでした。この湖畔にはテントを張ってキャンプしている人もいましたが、それよりはマシという感覚です。翌日コジャイケに戻り、コジャイケ内の地ビール工場や周辺の自然を散策し、3日目にコジャイケからの日帰りツアーでサン・ラファエル氷河にも足を伸ばしてみました。

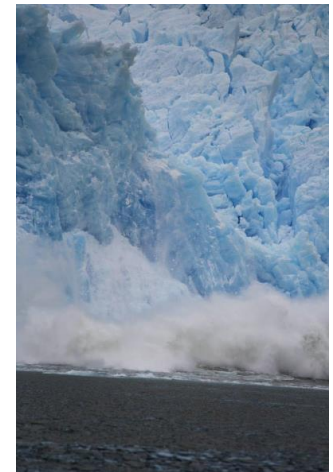




コジヤイケから車で1時間の プエルト・チャカブコで船に乗り替え、氷河までは片道約5時間の長旅です。船内で朝食、昼食が提供され、アルコール、ソフトドリンクは港に戻るまでフリーでした。時折、プロチェータという串に刺さった焼き鳥やセビツチェなどのつまみが出され、帰りの船内ではカラオケ大会で盛り上がりました。

氷河到着後は、小型ボートに分乗し、氷河付近まで接近することができます。（氷河が崩れてくるため触れる程近くには接近できませんが、流れてきた破片を拾うことはできます。）滞在時間は2時間弱程度で、あっという間に感じました。

マーブル・カテドラルに関しては、日本のツアーガイドブックにも紹介されておらず、また職場のチリ人もほとんど知らないような秘境ただけに、旅行者も少なく静かな旅行が楽しめますが、反面、上述したように宿泊場所が充実していなかったり、食事のできる場所が少ないという点もあります。土産物を売っている場所もなかったため、今回は写真と思い出だけを持って帰りました。



移動にかなり時間がかかりますが、途中、雪や氷河に覆われた山、あるいは雄大な川や滝などに出会う度に車を止めて美しい景色を眺めながら進んで行ったので飽きることはありませんでした。もちろん、湖畔の洞窟と瓦解する氷河の主役達も期待を裏切らない感動がありますので、是非お勧め致します。



※この記事は、カメラ会報237号（2015年2月発行）に掲載されました。